

2019年度 事業報告

〔 自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日 〕

公益財団法人 東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団

事業報告

〔 自 2019年 4月 1日 〕

〔 至 2020年 3月31日 〕

I 法人の概況

1. 設立年月日： 昭和32年(1957年)11月27日

2. 定款に定める目的：

この法人は、大学理工系の学部学生・大学院生に対し奨学援護を行うとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を図ることを目的とする。

3. 定款に定める事業：

- (1) 奨学金の給与
- (2) 奨学資金を受ける学部学生・大学院生の指導
- (3) 科学技術に関する研究開発の奨励
- (4) 科学技術に関する調査研究の助成
- (5) 科学技術の研究の成果の普及に関する助成
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管行政庁に関する事項： 内閣府

5. 主たる事務所の状況(2020年3月31日現在)： 東京都港区

6. 役員及び評議員に関する事項(2020年3月31日現在)

<役員>

役 職	勤務形態	氏 名	経 歴
理 事 長	非 常 勤	岡 井 政 義	元東燃ゼネラル石油㈱ 代表取締役会長
常務理事	同	伊 藤 陽 二	元東燃ゼネラル石油㈱ プロジェクトエグゼクティブ
理 事	同	田 村 昌 三	東京大学 名誉教授
同	同	田 島 直	㈱ミツウロコグループホールディングス 名誉会長 (現職)
同	同	長 島 昭	慶應義塾大学 名誉教授
同	同	斎 藤 彬 夫	東京工業大学 名誉教授
同	同	小久見 善八	京都大学 産官学連携本部 特任教授 (現職) 京都大学 名誉教授
同	同	西 出 宏 之	早稲田大学理工学術院 総合研究所 特任研究教授 (現職)
同	同	松 下 秀 司	元ゼネラル石油㈱ 企画財務部長
監 事	同	森 偉 実	元ゼネラル石油㈱ 信用管理室長
同	同	高 月 邦 彦	元東燃ゼネラル石油㈱ 企画管理室グループマネジャー/ 翻訳家 (現職)
同	同	佐々木 英明	元東燃ゼネラル石油㈱ 執行役員人事担当 ジクシス㈱ 経営企画部担当部長 (現職)

<評議員>

氏名	経歴
國武 豊喜	九州大学高等研究院 特別主幹教授 (現職) 九州大学 名誉教授
朝倉 祝治	横浜国立大学 名誉教授
大倉 一郎	東京工業大学 名誉教授
戸部 義人	大阪大学産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター 招聘教授 (現職) 大阪大学 名誉教授
大聖 泰弘	早稲田大学研究院 次世代自動車研究機構 特任研究教授 (現職) 早稲田大学 名誉教授
滝澤 博胤	東北大学 理事・副学長、教授 (現職)
浦邊 太郎	元ゼネラル石油㈱ 常務取締役
中西 宏一	元ゼネラル石油㈱ 小売開発部長

7. 職員に関する事項:

男子 1名 (勤続年数 9年 9ヵ月)

8. 許認可に関する事項: 当該事項はありません。

II 事業の概況

1. 事業活動

当財団を取り巻く環境を眺めると、現在、政府においては「教育再生」を最重要課題と位置づけて推進すると同時に科学技術によるイノベーション創出を重点施策として推進しております。

「教育再生」においては、家計における教育費の経済的負担の大きさに注目し、一昨年度に給付型奨学金制度を導入する等奨学金制度の拡充を図っております。しかしながらその内容の質・量ともに十分とは言えず、民間の支援はこれまで以上に期待されています。

一方、科学技術の振興の鍵となる研究費全般については、これまでの低減傾向に歯止めが掛かったもののエネルギー分野に関する研究費については相変わらず年々減少しており、大学研究者にとって民間からの研究助成金は貴重な財源となっています。

このような環境下の中、当財団は当事業年度において、次のような取り組みを行いました。

奨学事業においては、当財団設立以来継続している給付型奨学金を拡充すべく前事業年度に増額しました一人当たり月額4万円の奨学金を維持し支給致しました。また、奨学生の総数50名も維持いたしました。その結果、支給した奨学金総額は前事業年度と同額の2,376万円となりました。

研究助成事業では、研究論文の募集活動において推薦大学数を増やすなど積極的且つ極め細かく行った結果、前事業年度より多くの優秀な研究論文の申請がありましたので、採択数を前事業年度比2件増やし25件とすると同時に、優秀な研究内容に対しては助成金の増額を図り応募に応えました。その結果、助成金総額で前事業年度比280万円増加の3,280万円を贈呈いたしました。

こうした活動を効果的に推進するため、選考委員の補強、奨学生や受賞研究者との交流を増やし、組織の活性化や事業運営の改善と効率化に取り組むと同時に、将来像を念頭に置き事業の拡充と財政の健全化も進めてまいりました。

また、ガバナンスの強化を目的として定款及び規程類の改定を行いました。

そのほか、2018年12月に開設した財団ホームページを活用して関係者に利便性を提供すると共に、広く閲覧をして頂き財団活動の有効な広報ツールとしております。

各事業の活動経過及び成果は次の通りです。

(1) 奨学事業:

① 奨学生数: 50名

当事業年度末に20名の奨学生が卒業して社会に巣立ちましたが、これにより財団創立以来、累計卒業生は977名となりました。

指定大学別・大学院生別・学部学生別内訳

	北 大	東 北 大	東 大	東 工 大	横 国 大	早 大	慶 大	名 工 大	名 大	京 大	大 阪 大	九 大	計
大学院生	2	4	3	1	3	1	3	3	2	1	5	5	33
学部学生	1	1	2	4	1	3	1	0	0	4	0	0	17
計	3	5	5	5	4	4	4	3	2	5	5	5	50

② 奨学給付額: 月額 4万円/1人 (年間 48万円)

③ 主要な活動状況:

2019年3月 12日 指定大学12校に新規奨学生候補者19名の推薦依頼

同 4月 17日 推薦応募申請提出締切り

同 5月 10日 新規奨学生応募者の個別面接(東京)

同 6月 4日 選考委員会による最終選考及び理事会による承認

2019年6月～2020年2月 地域担当者による月例会等の開催を通じて奨学生の指導と奨学金の手渡し給付

尚、例年開催していました大学・大学院を卒業する奨学生のための送別会は、新型コロナウイルスの感染を回避するため開催を見送りました。

(2) 研究助成事業:

① 応募実績 (カッコ内は前年度実績)

・ 大学校数: 23校(16校) … 指定大学 12校(10校) 推薦大学 11校(6校)

・ 応募案件: 48件(37件) … 指定大学 31件(28件) 推薦大学 17件(9件)

② 助成金受賞者数及び総額

- ・ 対象者: 25名(13大学)
- ・ 助成金総額: 3,280万円(前事業年度比 280万円増加)

③ 主要な活動状況:

- 2019年 7月 5日 指定大学14校及び推薦 11校に研究助成金募集依頼
- 同 8月31日 応募申請提出締切り
- 同 9月27日 第1次選考会を実施
- 同 11月22日 第2次選考会を実施
- 同 12月16日 選考委員会による最終選考及び理事会による承認
- 2020年 2月14日 受賞された研究者のための研究助成金贈呈式を開催

2. 資金調達及び設備投資の状況

2019年度中における借入れ及び重要な設備投資並びに重要な施設の除却又は売却はありません。

3. 重要な契約の締結

該当事項はありません。

4. 届出及び理事会等会議に関する事項

(1) 申請、届出事項等

- 2019年6月30日 平成30年度事業報告及び計算書類等を内閣府に提出しました。(電送)
- 2020年3月31日 2020年度事業計画及び収支予算書等を内閣府に提出しました。(電送)

(2) 会議等開催状況

<評議員会>

会議とその開催日(場所)	議案・報告事項	審議結果
定時評議員会 2019年6月24日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)	決議事項: 1) 平成30年度 計算書類並びに財産目録の承認の件 2) 任期満了に伴う理事選任の件 3) 定款一部変更の件 報告事項: 1) 平成30年度 事業報告の件 2) 2019年度 奨学生採用選考の件 3) 理事長及び理事の主な活動報告の件	承認 承認 承認 了承 了承 了承

<理事会>

<p>第1回理事会 2019年6月4日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)</p>	<p>決議事項： 1) 平成30年度 事業報告及び計算書類並びに財産目録承認の件 2) 2019年度 奨学生採用選考の件 3) 任期満了に伴う理事改選の件 4) 定款一部変更の件 5) 研究助成金対象者選考委員委嘱の件 6) 奨学生選考委員会運営規則改定の件 7) 研究助成対象者選考委員会運営規則改定の件 8) 定時評議員会の招集及び付議事項の件 報告事項： 1) 理事長及び理事の活動報告(1月～6月)</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 了承</p>
<p>第2回理事会 2019年6月24日 (書面決議)</p>	<p>決議事項： 1) 理事長1名選定の件 2) 常務理事1名選定の件</p>	<p>承認 承認</p>
<p>第3回理事会 2019年8月9日 (書面決議)</p>	<p>決議事項： 1) 研究助成対象者選考委員委嘱の件</p>	<p>承認</p>
<p>第4回理事会 2019年12月16日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)</p>	<p>決議事項： 1) 第39回(2019年度)研究助成案件の選考及び助成金額承認の件 2) 奨学資金給与規程改定の件 3) 研究助成金給付規程制定の件 4) 旅費規程改定の件 報告事項： 1) 資産運用状況 2) 公益事業推進準備金及び運営積立金の使途及び計画 3) 理事長及び常務理事の職務の執行状況 (2019年6月～12月)</p>	<p>承認 承認 承認 承認 了承 了承 了承</p>

第5回理事会 2020年2月14日 (グランドプリンスホテル高輪)	決議事項: 1) 2019年度 決算方針に関する件 (1) 重要な会計方針 (2) 指定正味財産の積立・取崩 2) 2020年度 事業計画及び収支予算等に関する件 (1) 事業計画 (2) 収支予算 (3) 資金調達計画及び設備投資計画 (4) 資金運用執行方針及び計画 3) 2020年度 奨学生募集に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
	報告事項: 1) JXTG エネルギー(株)からの検討依頼事項(注1) 2) 研究助成金の受賞辞退に関する報告	了承 了承

(注1) 寄付金等の援助を受けている JXTG エネルギー(株)より、財団名称変更と事務所移転の検討を要請された。いずれも当財団にとって重要事項であり、且つ定款に係る可能性があるため、背景と依頼事項等を遅滞なく報告しました。

<選考委員会>

奨学生選考委員会 2019年6月4日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)	決議事項: 1) 2019年度 奨学生採用選考について	承認
研究助成対象者選考委員会 2019年12月14日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)	決議事項: 1) 第39回(2019年度)研究助成案件の選考及び助成金額の決定に関する件	承認

5. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位:万円)

事業年度	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
経常収益	6,344	6,192	6,287	7,003	7,103
経常費用	6,221	6,365	6,504	7,924	7,943
評価損益等調整前 当期経常増減額	123	-173	-217	-921	-840
評価損益等	-768	-276	1,361	-2,846	-5,070
当期経常増減額	-645	-449	1,144	-3,767	-5,909
資産合計	104,371	104,588	105,377	102,407	97,138
正味財産	104,099	103,650	104,794	101,827	96,518

Ⅲ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実（後発事象）

該当事項はありません。

Ⅳ 事業報告の附属明細書

2019年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しません。

以上